

# せんちょう

広報

2025.11

Vol.45



千丁校区まちづくり協議会(広報委員会)  
発行責任者:土田孝藏 編集責任者:宮崎浩吉  
八代市千丁町新牟田1434 連絡先46-1720

三の丸 女相撲



# 災害から命を守るため、知ってほしい備え

大雨や台風などによる洪水、大規模地震、それに伴う津波や土砂災害が発生した時、  
「自分の身は自分で守る」ための事前の備えをしておきましょう。

市からの避難情報に則した行動をお願いします。

災害が発生する恐れのある場合、  
市から警戒レベルに応じた避難情報を発令します。  
必要に応じて避難所に避難するなどの  
適切な行動をとりましょう。  
暗くなってからの避難は危険を伴います。  
できるだけ明るいうちに避難してください。



| 警戒<br>レベル         | 避難情報など          | 避難行動など                                                      |
|-------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------|
| 5                 | 緊急<br>安全確保      | 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況です。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。 |
| ～ 警戒レベル4までに必ず避難 ～ |                 |                                                             |
| 4                 | 避難指示            | 災害が想定されている区域では、避難をしてください。                                   |
| 3                 | 高齢者<br>等避難      | 災害が想定されている区域では、高齢者以外の人も自ら避難の判断をしてください。                      |
| 2                 | 大雨-洪水-<br>高潮注意報 | 防災マップ(ハザードマップ)により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。           |
| 1                 | 早期<br>注意情報      | 最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。                         |

すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5 緊急安全確保**  
の発令を待ってはいけません。

**警戒レベル4 避難指示**で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間がかかる高齢の  
人や障がいのある人などは  
**警戒レベル3 高齢者等避難**  
で危険な場所から避難しまし  
ょう。



被害を少しでも小さくするためにできることをやっておこう。

## 地震から身を守るために日頃から備える

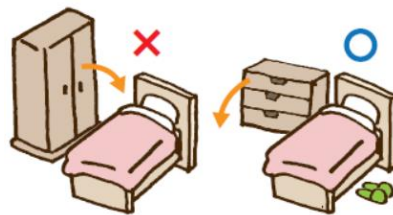


●転倒しないように家具を固定する



●ガラスには飛散防止フィルムを貼る

●高いところに物を置かない



●家具の配置場所を工夫し、家具は、なるべく背の低いものにする

●ベッドの下にスリッパを置く

●家族と離れた時の連絡方法を決める



●地震保険に加入しておく

●家を建てる時は耐震化や液状化対策を行う。



●住宅の耐震診断や必要な補強を行う



●熱中症対策や防寒対策を行う

●日常利用しながら備蓄する(3~7日分)

(水、食料、簡易トイレなど家族の状況に応じたもの)

※オムツや離乳食、ペットに関するものも備蓄する



●(車中泊などに備えて)車のガソリンを満タンにしておく

●消火器を準備する

## 津波から身を守るために日頃から備える



●防災マップ(市防災サイト)で避難場所や高台の位置、避難経路を確認する

●津波の到達時間の目安を知る

●すぐに避難できるよう非常持ち出し品を準備する

(定期的に内容を見直し、薬なども準備する)



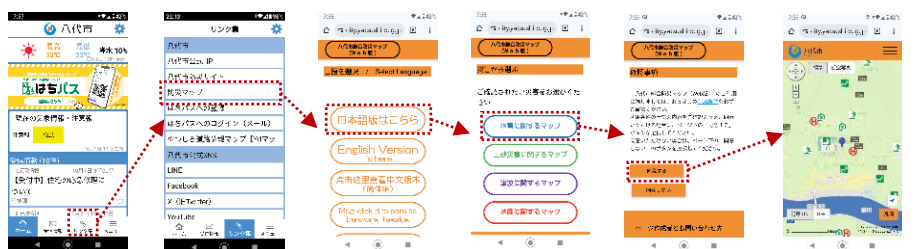
●地域で顔の見える関係づくりをする 地域の防災訓練への参加や、防災について学ぶ

引用:「くまもとマイタイムラインガイドブック(地震・津波版)」 熊本県知事公室危機管理防災課作成

## 普段からの心がけ 危険度と避難の場所やタイミングの確認

① 居住する場所が浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに当たるかどうか、防災マップ(市防災サイト)で、あらかじめ確認しておきましょう。

防災アプリ「@Info Canal」アットインフォカナルを、スマートフォンにインストールすると右の手順で確認したい所の情報を見ることができます!



防災マップ



② 地域の避難場所の確認や非常用持出袋などの準備を行いましょう。

③ 防災マップを参考に、避難のタイミングを考えるための「マイタイムラインシート」を作成し、自宅の目に付く場所に貼り出すなど、家族で確認を行いましょう。



# 夏休み 千丁町こどもサマークラブ



ともだちづくりゲーム



7月22日～8月1日(全9日間)、「夏休み千丁町こどもサマークラブ」が開催されました。

千丁小1・2年生を対象とした毎年人気の学習や活動プログラムで、32名(1年生14名・2年生18名)の子ども達が参加し、教職経験者や児童委員OB、ボランティアスタッフ計7名が支援しました。小学校ALTの2名の先生による「英語で遊ぼう」、せんちょう図書館職員による読み聞かせ、千丁ヘルスメイト指導のおやつづくりがありました。その他ものづくりやスポーツ活動があり、普段と異なる環境で新しい体験をしたり、協調性や自立心を養う機会となり、夏休みの始めの2週間を楽しく過ごしていました。

スポーツ活動



読み聞かせ





おやつづくり



ものづくり



英語で遊ぼう



ABCD  
EFG





## 卒寿 (90 歳) の皆様

46 名のうち、一部の方をご紹介します



中田千代美さん



佐藤ユキ子さん



後藤二三枝さん



沼田 正さん



田中 義光さん



福田 富子さん



渡辺 太郎さん



榎田マサエさん



松永 善藏さん



村田 静加さん



古島 仁作さん



澤村 克弘さん

祝

敬老の日

いつまでもお元気で

ご長寿のお慶びを申し上げます

現在、千丁町には敬老者77歳以上の方は1137名、そのうち今年度90歳になられる方は46名おられます。今年も敬老の日を迎え、長い年月を積み重ねてこられた地域の方々への感謝の気持ちを込め、敬老者の方に心ばかりの品が配布されました。





# 校区福祉会だより



## ひとり暮らし交流会

千丁校区福祉会では、高齢者のひとり暮らしの方を対象とした交流会を実施しています。  
 今回は「二の丸」「八代新地」「西牟田下区」「新牟田三区」の4ヶ所で開催されました。  
 八代市第2地域包括支援センターより「**転倒予防のために外出する事の大切さ**」のテーマで  
 体操を交えての講話があり、その後銭太鼓、バイオリン演奏やギター演奏など楽しい催しが  
 されました。  
 参加された方はみんなと一緒に弁当を食べながら、とても楽しそうに過ごされていました。  
 また来年も皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



二の丸  
地区の様子



八代新地  
地区の様子



西牟田下区  
地区の様子

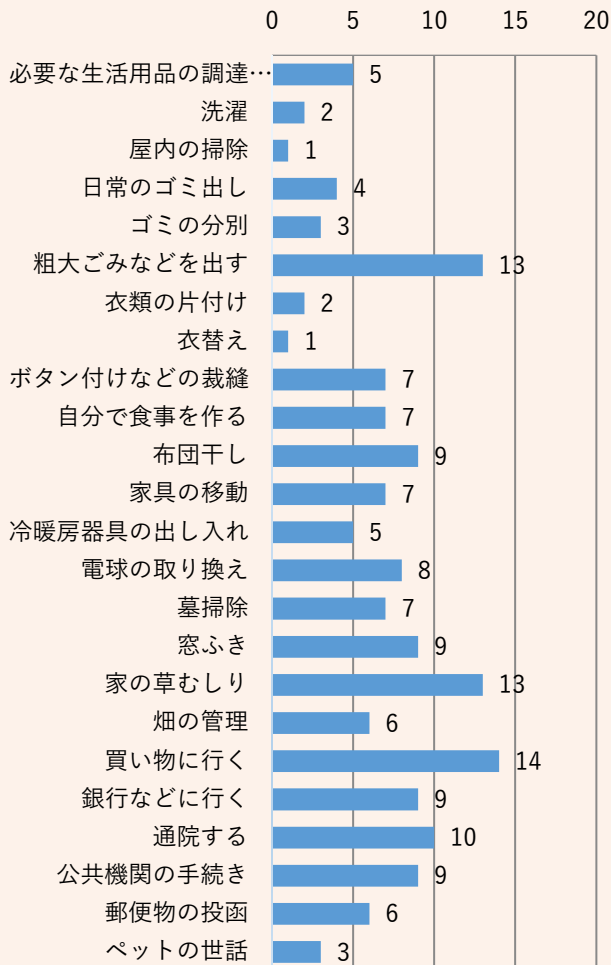


新牟田三区  
地区の様子



## 問 B

家族や隣近所、介護保険サービス  
による支援を除いて解決できていな  
い困りごとはありますか？(複数回答)



### その他の困りごと

- ・高いところの不要物・目が見えづらい
- ・台風準備や片付け・植木の業者が分からない
- ・自動車免許返納後の受診にバスが通らない
- ・郵便物、書類を読めない、理解できない。

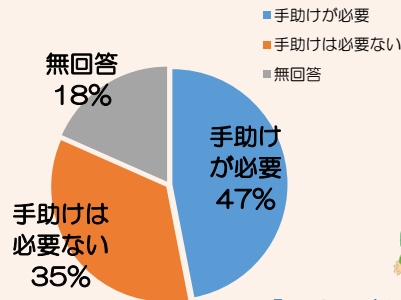
## 問 A

あなたの状況について、  
あてはまるものに○をつけて  
下さい。

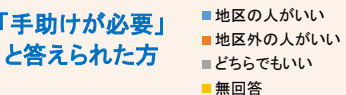
|      |                |    |
|------|----------------|----|
| 世帯状況 | 一人暮らし          | 92 |
|      | 夫婦二人暮らし        | 2  |
|      | 76歳以上の高齢者を含む世帯 | 4  |
|      | 合計             | 98 |

|    |          |    |
|----|----------|----|
| 年齢 | 90歳以上    | 16 |
|    | 85～89歳   | 30 |
|    | 80歳～84歳  | 31 |
|    | 75歳～79歳  | 20 |
|    | その他(71歳) | 1  |
|    | 合計       | 98 |

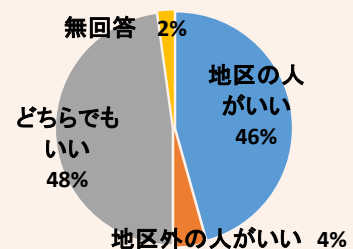
「困っていること」の手助けが  
必要になった時手助けをしてもら  
いたいですか？



### 「手助けが必要」と答えられた方



「手助けが必要」と答えられた方に、  
支援者は地区の人が良い？地区外の  
人が良い？



- ◆ 調査時期…令和7年 7月
- ◆ 調査対象者…1人暮らし高齢者及び見守り対象者(100人)
- ◆ 回収数…98人(98%) 太牟田27、吉王丸7、新牟田28、古閑出36人

# 千丁校区生活困りごとアンケート

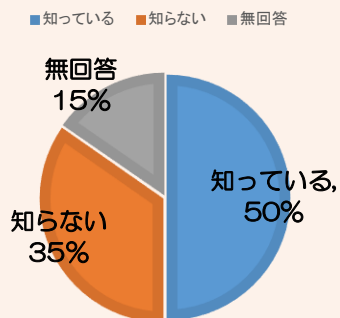
## 調査結果



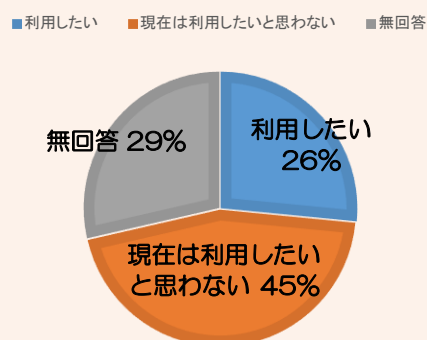
## 問 D

プラチナネットワークについて

「プラチナネットワーク」をご存じですか？



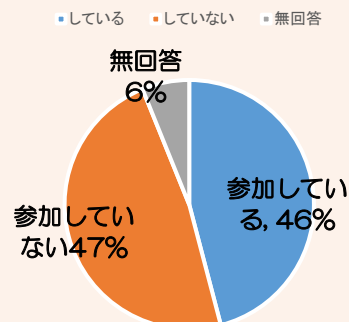
「プラチナネットワーク」を利用したいですか？



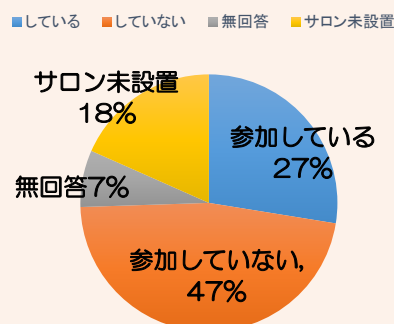
## 問 C

ご近所や地域との交流について

地域の行事に参加しますか？



いきいきサロンに参加しますか？



地域の支え合いの仕組みを考えていくことを目的に、地域の1人暮らしの高齢者及び見守り対象者の生活における困りごとなどについて調査を行いました。アンケートを実施して、高齢者の困りごとを具体的に知ることができました。暮らしやすい地域にするために何ができるか？皆で考えてもらうきっかけになればと思います。

千丁校区福祉推進協議会では高齢者や障がいを持つ方のちょっとした困りごとをシルバー人材センターの「プラチナネットワーク（ワンコインサービス）」を利用して問題解決に取り組んでいます。





## 令和7年度 千丁中学校 文化祭

10月10日、千丁中学校体育館で文化祭が開催されました。  
『勇往邁進〜自分の目標に向かって突き進もう〜』を生徒会テーマに、執行部によるオープニング映像「君の名は」で始まり、後は順番に、生徒会による「えっ？今日文化祭？〜執行部の日常」、1年生は「邁進への第一歩」、2年生は「プロフェッショナル〜仕事の流儀〜」、3年生は「僕と私の未来会議」と進められ、高学年ほど演技が素晴らしい出来栄でした。  
最後の「吹奏楽部演奏」は、先生方が飛び入りで参加され、生徒や観客席から歓声が上がりに盛り上がりました。また、展示物が体育館の壁にも掲示されていて、見どころ満載の文化祭でした。



## 体験クルーズ 猫の島「湯島」へ

9月27日、「千丁の未来子ども会」が企画した上天草市の離島「湯島」への体験クルーズが実施されました。  
八代内港から湯島へのクルージングは、主催の「NPO法人熊本県海難救助隊」3艇の船に参加者22名が乗船し目的地に向かいました。  
湯島では地元の公民館を借り、上天草市から参加した子ども達と一緒に講話やクイズで学習しました。その後2班に分かれて、地元漁師さんの生け簀で「エサやり」、海岸に流れている着いてきたシーグラスを使って「フォトフレーム作り」の体験を交互に行いました。食事のあとは出航まで自由行動となり、湯島の猫と遊びやふれあいを楽しみ、島での体験を満喫しました。  
八代への帰る途中「天草リゾラテラス」で休憩しお土産探し、八代内港に到着し下船後、クルーズ主催の海難救助隊より「海上航海訓練記録証」を参加者全員に渡され、予定された体験クルーズの日程を終えました。







出来立ての「みようが饅頭」はとても柔らかく、子どもたちが美味しそうに口いっばいに頬張っている姿を見て、参加した皆さんに笑顔がこぼれました。

6月19日千丁幼稚園の園児たちが千丁コミュニティセンターで、千丁校区婦人会のサポートを受け、『みようが饅頭づくり』を体験しました。

## 千丁幼稚園



## 食育活動



## 夏休み子ども教室 (西牟田下区)

7月28日から8月1日までの5日間、西牟田下区公民館で『西下あけぼの子ども会』を対象とした「夏休み子ども教室」が開催されました。西下地区の小学生11名が参加し、宿題学習・読み聞かせ・防災士による「ミニ防災講座」・いじめ等について学び、その他昔遊びや紙芝居で楽しみました。

最終日には交流会を開催し、婦人会、伝統文化保存会、老人会、保護者達大人30名も加わり「銭太鼓」の披露とレッスン、ポツチャ大会、手品などが行われ、歓声と笑いで、夏休みの思い出を作ることができました。



## 神事

## 女相撲 (二の丸女相撲保存会)



10月5日、二の丸地区の「竜神社」で毎年開催されている例祭「女相撲」が奉納されました。

竜神社の神事のあと、相撲取りに扮した女相撲取りたちが土俵に登場。土つき(どうつき)、相撲甚句、力士紹介、横綱土俵入り、取り組みと続き、最後は弓取り式で終わります。

取り組みでは、相撲取りたちの表情や動きで歓声と笑いが起こり、観客たちは女性の力強さと楽しい神事の伝承をみるのができました。



編

集

後

記

長かった夏がやっと終わり秋らしくなりました。

この度の八月の大雨で被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

私も人生初めての体験でした。今まではテレビで見るだけのことと思ってましたが、色々な災害の被災者の方の気持ちが少しだけわかったように思います。

私は今年五月より広報委員になりました。まだわからないことばかりですけど宜しくお願い致します。

広報委員 鈴木